



抱っこの仕方

縦抱き

赤ちゃんのわきの下から両手を入れ、からだを起こす抱き方のことをいいます。赤ちゃんのからだを抱き上げるときは、必ず頭を支えながら起こして下さい。

またの間に片手を入れておしりを支え、もう一方の手で背中をまっすぐに立てて抱っこしましょう。

このとき、赤ちゃんの両膝と股関節が曲がったM字型開脚で保護者にしがみついた形に抱っこしましょう。



前抱き

両手で輪っかを作り、その中に赤ちゃんのお尻をはめこむイメージで抱っこします。

ポイント

- ・赤ちゃんの体全体を丸くする
- ・赤ちゃんの両腕を前に出す
- ・赤ちゃんの体をねじらない
- ・赤ちゃんの手足を伸ばさない



赤ちゃんが股関節脱臼にならないように注意しましょう!

赤ちゃんの股関節脱臼はまれですが、抱き方やおむつの当て方などに注意することで発生をさらに減少させることができます。

赤ちゃんの脚は、両膝と股関節が曲がったM字型で、外側に開いてよく動かしている状態が好ましいです。赤ちゃんの両脚を外から締めつけて脚が伸ばされるような、きついおむつや洋服は避けて、赤ちゃんが自由に脚を動かせる環境をつくりましょう。

予防方法について日本小児整形外科学会のホームページに動画で紹介されているため、参考にしてください。

日本小児整形外科学会
ホームページ

